

# ちよつといし話

## 彼岸に行けるか

今年も彼岸がやって来ます。彼岸とは 30 号で述べた通りですが、お彼岸は春分の日を中心に一週間と秋分の日を中心に一週間あります。春分の日と秋分の日のご存じの様に、太陽が真東から出て真西に沈みます。仏教では西方に阿弥陀様が極楽浄土の世界を創って待って見えますので、自ら悟りを得て西方極楽の国へ行ける様に修行をする為の期間であります。その修行の一つが、お寺やお墓に行き先祖の追善供養をする事です。自分の過去も自分の現在も自分の未来も元は御先祖にあります。その実践は 29 号を参照して下さい。

三世代そろってのお詣りが出来れば最高です。日本の家族形態が三世代政を壊してきました。近年三万余人の自殺者がおり、未遂者は 30 万人以上みえるそうです。今年発表された文部科学省の学校基本調査速報によると昨年度、小中学校生の不登校が減って 12 万 6 千 2 百 12 人と発表されました。又、筑波大学の報告によると小学校 4 年～6 年生を対象にアンケート調査をした結果一割強の生徒が「うつ」の傾向にある事が分かりました。これ等の調査を一步進めてどの様な家族形態の子供がなり易いのかを発表し、明らかにしなければならぬと思います。おそらく二世代、三世代そろっている家族の子供は是の様な病に罹りにくいと思います。家族の生活が出来なくて社会生活が出来るとは思われません。

私達は一年を通して佛縁に会う機会が少ししかありません。この機会に家族揃って 38 号、康隆上人のお言葉に従い、親、ご先祖に礼を持って接し、孝養を通して共に仏道を成ぜん事を祈念するのみです。10 月に善光寺のお十夜にいけます。

善入院油掛地藏尊